満員

“聴き手を説得する”ための「伝える技術」～自身のプレゼンスを高める～ (4119092)

“聴き手を説得する”ための「伝える技術」～自身のプレゼンスを高める～ －前回のセミナーは参加者様全員が「非常によい」「良い」と評価しました 「情報システムを企画する、それを上司に、役員に承認していただく」ここにも「プレゼンテーション」が必要になります。決して営業やマーケティング部門だけのスキルではありません。“聴き手の心を動かす”“聴き手を説得する”ための21のポイントを実践も含めてレクチャーします。皆さんは、言葉の表現技術、言葉の持つ力、そして通常に経験している“プレゼンの問題”を改めて考えることになるでしょう。 聴講だけのご参加を歓迎します。ただ、本セミナーでは、希望者に実際にプレゼンテーションをしていただき、参加者・講師が改善点を指摘することによって、実際の場で活用できることも目指しております。ぜひ挑戦してください。

開催日時	2019年11月22日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	永井一美 氏 （オレンジコミュニケーション・サポート 代表 ） 日本システムウエア株式会社にて、当時、日の丸コンピューターとして電電公社・富士通・日本電気・日立製作所が共同開発していた「DIPSプロジェクト」に技術者として携わる。その後、システムインテグレーション部隊のマネージャー。 「2000年問題」時、顧客相手に対応促進のプレゼンテーションを数多く実施。このときにプレゼンの重要性を痛感。その後、講負ではなくアメリカが成功していた「ソフトウェアの可能性」を追求すべく、“2000年問題”収束後の６月にアクシスソフト（現在、合併によりオープンストリーム）に転職し製品事業の立ち上げに尽力。2006年に代表取締役社長に就任。入社時より携わったリッチクライアント/RIA製品は国産ではトップシェアとなった。 また、WEJS（Made In Japan Software consortium）理事としてワークショップで各社製品紹介を担当。ソフトウェアベンダーの知財権をサポートする日本IT特許組合では理事長を歴任。会社および団体、ビジネスにおいてプレゼンテーションは重要な役割を果たした。2011年9末にアクシスソフト代表を退任。2014年8月、日本ネクサウェブ株式会社COOとして再びRIA事業に参画、2019年12末に退任。ライフワークである「プレゼンテーション研修」は継続し、その重要性を伝えている。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	情報システムや製品などについて、顧客・社内に口頭説明・提案される方
開催形式	講義、演習
定員	15名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

「どんな仕事に就いたとしても、また、その仕事がどのように変化したとしても必ず役に立つ『転移可能』な能力」、それが「２１世紀型スキル」です。
ここで学ぶ「プレゼンテーション・スキル」は「コミュニケーション・スキル」の１つ。そして「コミュニケーション」は「２１世紀型スキル」であり、「仕事のツール（Tools for W-orking）」に位置付けられています。“一生懸命覚えて、将来は使わないスキル”ではなく、皆さんをずっと助けてくれる。それが「プレゼンテーション・スキル」です。

「情報システムを企画する、それを上司に、役員に承認していただく」ここにも「プレゼンテーション」が必要になります。決して営業やマーケティング部門だけのスキルではありません。

“聴き手の心を動かす”“聴き手を説得する”ための21のポイントを実践も含めてレクチャーします。皆さんは、言葉の表現技術、言葉の持つ力、そして通常に経験している“プレゼンの問題”を改めて考えることになるでしょう。

聴講だけのご参加を歓迎します。ただ、本セミナーでは、希望者に実際にプレゼンテーションをしていただき、参加者・講師が改善点を指摘することによって、実際の場で活用できることも目指しております。ぜひ挑戦してください。 参考までに過去の参加者様の生の声を掲げておきます。

・色々なプレゼンの動画、講師の実演が大変に参考になりました。
　良い悪いが比較できました。
・改めまして自分を見つめ直すことができました。
・大変に良いです。他の人に伝えます。
・プレゼンに関して多くの気づきを得ました。

◆主な研修内容：

序論　・プレゼンテーションとは
　　・「２１世紀型スキル」
本論　・アリストテレスの教え
　　・プレゼンテーション２１のポイント
　　企画＆制作編、予行編、本番編

・視覚とスライド、チャート
・発声、滑舌
・レトリック
・日本語表現

実践　・各自プレゼンテーション実施
各自５分のプレゼン
講評

まとめ
・質疑応答